

折尾地区総合整備事業の進捗状況について【報告】

1 概要 … 別紙 1～2

折尾地区総合整備事業は、折尾駅を中心とした既成市街地を学園都市の玄関口にふさわしい地域拠点として再整備するため、鉄道を高架化する連続立体交差事業、駅周辺の道路整備を行う街路事業、駅南側の住環境の改善を行う土地区画整理事業を一体的に実施するものである。

今年 1 月に鹿児島本線が高架本切替し、新駅舎が開業した。今年度末には短絡線の高架切替を予定しており、平成 16 年度に事業着手した鉄道の高架化が完成する。

また、駅周辺では、北口駅前広場や駅へのアクセス道路の整備が本格化しており、高架下では、まちづくりの新たな拠点となる「折尾まちづくり記念館」の整備が来年春のオープンに向けて進むなど、新しいまちの形が整いつつある。

このように、折尾地区総合整備事業が大きな節目を迎えることから、現在の事業の進捗状況と今後の見通しについて報告するもの。

2 進捗状況と今後の整備予定

(1) 連続立体交差事業 … 別紙 3

ア 進捗状況

- ・平成 31 年 3 月 筑豊本線の高架切替（国道踏切を含む踏切 3 か所の除却）
- ・令和 3 年 1 月 鹿児島本線の高架本切替、新駅舎開業

イ 今後の整備予定

- ・令和 3 年度末の短絡線の高架切替をもって、全線高架化が完了予定。
- ・令和 4 年度から、鉄道高架化に伴う新々堀川の移設、残存鉄道施設の撤去を行う。
- ・残工事の内容を踏まえて工程を検討した結果、事業期間を 2 年間延伸し、令和 6 年度の事業完了を目指す。

(2) 土地区画整理事業 … 別紙 4

ア 進捗状況

- ・事業区域を 3 つの地区（堀川町、東側、鉄道跡地）に分割し、連続立体交差事業の進捗にあわせて計画的に進めている。
- ・平成 30 年度に堀川町地区の建物移転（70 戸）が完了。現在 27 宅地が完成。
- ・現在の東側地区と鉄道跡地地区の建物移転率は、58%（107 戸/184 戸）。

イ 今後の整備予定

- ・令和 4 年度に堀川町地区の宅地整備が完了予定。
- ・令和 4 年度から、東側地区と鉄道跡地地区の宅地整備を本格化させる。
- ・令和 6 年度に南口駅前広場の整備が完了予定。
- ・令和 7 年度までに南口駅前広場周辺街区の完了を目指す。
- ・建物移転の進捗状況等を踏まえて工程を検討した結果、事業期間を 3 年間延伸し、令和 10 年度の事業完了を目指す。

(3) 街路事業 … 別紙5

ア 進捗状況

- ・平成29年12月 折尾堀川町線暫定供用（駅南側への新たな道路の開通）
- ・令和2年3月 折尾中間線暫定供用（アンダーパスの平面道路化）

イ 今後の整備予定

- ・令和5年春には、北口駅前広場や日吉台光明線、高架側道など、駅や高架下へのアクセスに必要な道路の整備が概ね完了予定。
- ・令和5年度以降、土地区画整理事業の進捗にあわせて、駅南側へのアクセス道路を計画的に整備し、土地区画整理事業と同様に事業期間を3年間延伸し、令和10年度の事業完了を目指す。

3 事業計画の見直し … 別紙6

- ・今後の整備予定のとおり、事業期間を見直す。（表-1）
- ・事業期間の見直しにあわせて、事業費を精査した結果、全国的な人件費や資材単価の高騰の影響などから、事業費を見直す。（表-2）

表-1 事業期間

	現状	見直し後
連立	平成16年度～令和4年度	平成16年度～令和6年度
区画	平成18年度～令和7年度	平成18年度～令和10年度
街路	平成16年度～令和7年度	平成16年度～令和10年度

表-2 事業費

	現状 A	見直し後 B	差 C=B-A	率 C/A
連立	487億円	501億円	14億円	3%
区画	196億円	246億円	50億円	26%
街路	157億円	188億円	31億円	20%
合計	840億円	935億円	95億円	11%

4 今後のスケジュール

- ・令和3年12月 広報紙（ニュースおりお、区画整理ニュース）の各戸配布
- ・令和4年1月～ 地元説明会の開催
- ・令和4年5月 土地区画整理事業の事業計画変更の告示